

俳人協会賞を受賞

今瀬 剛一さん

紅梅は水戸の血の色咲きにけり



増井在住の俳人、今瀬剛一さん(71)の句集「水戸」(本阿弥書店)が、社団法人俳人協会が設ける「第47回俳人協会賞」を受賞しました。今年度は319の選考対象作家から候補作14編が絞られ、最終的に2作品

が選ばれました。これまでも候補作に名を連ねていた今瀬さんでしたが、今回は難関を突破し、念願の受賞となりました。

受賞作は、今瀬さんの9冊目となる句集で、平成13年から18年までの6年間に詠んだ作品のうち厳選された340句をまとめたもの。これまで育った水戸の精神風土を意識して詠まれた作品群です。

「自分の中に流れる、不器用で直情的な水戸の血が昔は嫌だったが、良くも悪くも精神風土からは逃れられない。年とともに受入れられるようになってきた。自分を育んだ水戸への誇りや感謝の思いを込めた」と話す今瀬さん。受賞に対し「素直にうれしい気持ちでいっぱい。俳句作りで一緒に歩く仲間が力になってくれた。これからも、日常や旅先などその時々『現場性』を大事にしながらか句を読み、また俳論(句の評論)や芭蕉の研究など新たな挑戦を続けたい」と喜びを話してくれました。

統計調査で表彰

永年にわたり、統計業務の発展に貢献した統計功労者の方々を表彰する「第49回茨城県統計大会」が、1月24日に県民文化センターで開催されました。

町の統計調査員からは、経済産業省所管統計功労者として、国井豊吉さん(磯野)に経済産業省調査統計部長感謝状が授与されました。また、15回以上の

統計調査従事者である園部孝志さん(上入野)、小山卓臣さん(北方)が茨城県知事表彰を受賞。10回以上の統計従事者である介川秀一さん(高久)、角田富美子さん(御前山)には茨城県統計協会総裁表彰が贈られました。おめでとうございました。



左から国井さん、園部さん、小山さん、角田さん、介川さん

シルバーリハビリ体操で感謝状

城里町いきいきヘルスポラントイアグループ(興野行雄代表)は、シルバーリハビリ体操の普及活動に努め県民の健康増進に貢献した功績により、1月24日、県立健康プラザにおいて県知事より感謝状を贈られました。

同グループは、シルバーリハビリ体操指導士の資格を持つ43人の会員からなり、介護予防や寝たきり防止を目的として町内各地域で高齢者などを対象に、健康ボランティア活動を行っている団体です。興野さんは「活動が表彰され光栄。これを励みにこれからも、シルバーリハビリ体操を多くの人に伝えていきたい」と喜びを話してくれました。



前列左から田上勇夫さん、興野行雄さん
後列左から入野さみ子さん、磯部和子さん

人命救助で感謝状

桂中学校 深谷良重先生

AED(自動体外式除細動器)を使った人命救助を行ったとして、桂中学校の深谷良重先生が、2月20日、水戸市消防本部から感謝状を贈られました。



左から久野教頭、深谷先生

顧問でもある深谷先生は、昨年12月、桂中学校グラウンドで行われた他校サッカー部との練習試合中に、他校の生徒が突然倒れ、心肺機能が停止するという状況に遭遇。脈拍・呼吸がなかったため、深谷先生は校内に設置されているAEDを使い、一方で他校の先生と保護者が心肺蘇生法(人工呼吸・心臓マッサージ)を行う連携プレーで、懸命な救命救命活動がなされました。幸い、救急車が到着したときにはAEDの働きで心臓の動きが回復、先生の迅速で適切な対応により生徒の大切な命を守ることができました。

もしものときに命を救うためには、救急車が到着するまでにいかに救命処置がなされるかが重要となります。今回のように、心肺蘇生法とAEDを組み合わせた救命処置は誰にでもでき、とても有効な方法です。町では、小中学校の他、常北保健福祉センター(1階ロビー)、常北公民館(事務室内)にもAEDを設置しています。

第3回家庭教育学級

2月2日、コミュニティセンターで、平成19年度第3回家庭教育学級が開催されました。今回のテーマは、子どもの人権・子どもの育て方。土浦日本大学高等学校の程塚洋校長が「社会の宝としての子育て」と題して講演を行いました。



程塚先生は、「聴くということ、耳と14の心と目で聞いてあげること。家庭で子どもの話を温かい気持ちでたくさん聴いてあげて欲しい」と述べました。また、子供への声のかけ方についても触れ、言葉を大事に、言葉（ことだま）を大切にしよう語りました。ご自身の豊富な経験・体験をもとに時には身振り手振りを交え、子育ての大切さについて終始熱い語り口で話す先生の講演に、参加者からは、「親と子の関わりを考えると良い機会になった、話を聴けて本当に良かった、心に響く素晴らしい講演だった」などの感想が多く聞かれ、涙ぐむ参加者もいました。

城北地方少年サッカー大会

第21回を迎えた城北地方少年サッカー大会（常北サッカースポーツ少年団及び同育成会主催）が、2月9日・10日の両日、常北運動公園広場ほか4会場で開催されました。この大会は、近郊の少年サッカーチームとの親睦を深め、技術の向上や少年サッカーの普及を目指すものです。

県内外から36チームが参加。夜中に降った雨のためにグラウンドコンディションが悪く、少年たちは白熱した試合を繰り広げました。城里町からは常北サッカースポーツ少年団が決勝戦まで進み、常陸太田との対戦で引き分けの末PK戦で惜敗しました。大会の結果は次のとおりです。



高学年の部で準優勝した常北チーム

- ▼高学年の部（6年生主体のチーム）
 - 優勝 常陸太田サッカースポーツ少年団（常陸太田市）
 - 準優勝 常北Aサッカースポーツ少年団（城里町）
 - 第3位 笠間サッカースポーツ少年団（笠間市）
 - 第4位 南河内フットボールクラブ（栃木県下野市）
 - 敢闘賞 湊第一サッカースポーツ少年団（ひたちなか市）
堀原サッカースポーツ少年団（水戸市）
- ▼低学年の部（4年生主体のチーム）
 - 優勝 常陸太田サッカースポーツ少年団（常陸太田市）
 - 準優勝 真壁ジュニオールサッカースポーツ少年団（桜川市）
 - 第3位 友部サッカースポーツ少年団（笠間市）
 - 第4位 荒谷台サッカースポーツ少年団（東海村）
 - 敢闘賞 常北Aサッカースポーツ少年団（城里町）
湊第一サッカースポーツ少年団（ひたちなか市）

卓球大会

第8回常北卓球スポーツ少年団卓球大会が、12月8日に常北公民館で開催されました。結果は次のとおりです。

- ▼カブの部
 - 優勝 高柳優香 準優勝 大津 瞳
 - 第3位 鈴木健太 同 関谷悠陸
- ▼ホープス男子の部
 - 優勝 森 直也 準優勝 渡辺雄大
 - 第3位 石井昇吾 同 大森 翔
- ▼ホープス女子の部
 - 優勝 添田真由 準優勝 西野あや
 - 第3位 橋本菜未 同 松谷咲季



城里町長杯ミニバス大会

第1回城里町長杯ミニバスケットボール大会が、1月19日、20日に桂体育館及び石塚小学校体育館を会場に開催されました。今回の大会は、記念すべき第1回目の大会。町内の古内、桂、七会の各ミニバスを含め、近隣市町村から16チームが参加しました。結果は次のとおりです。

- 優勝 茨大付属ミニバス 準優勝 大洗ミニバス
- 第3位 真壁ミニバス 第4位 古内ミニバス



高く連芸発表会

2月6日、高齢者クラブ連合会主催の第3回芸能発表会が、コミュニティセンター城里で行われました。団体や個人、37組100人余りが出場。それぞれが日頃から練習してきた歌謡や舞踊、詩吟などの成果を披露すると、観客からは大きな拍手が送られていました。

